

ウミハジルーフ



【Concept】

国道331号線を平和祈念公園からひめゆりの塔へと向かう道すがら。大度集落へと国道からスージーへ左折して奥へ奥へと進んで行くと、南へ視界が広がる海岸線が見えてきます。この海岸線の一角に現在の大度園地があります。大度園地には、ダイビングをする人や海岸線を散歩するカップル、海辺で遊ぶ親子連れ、園地内で海を眺めてのピクニックを楽しむ人たち。そんな様々な年代や利用方法など、多種多様なグループが大度海岸を楽しんでいました。利用者は木陰を見つけては荷物置場や集合場所にしていて、影をつくる木々や東屋は1グループが使用すると他のグループが使用を躊躇って利用しにくい様にも感じます。そこで、私たちは大度園地内にある様々な影のあり方を見直し、様々なグループの人たちがそれぞれに利用できるように海岸線の一角に海と園地をつなぐ「海端」を提案いたします。

【Plan】

バリアフリーに考慮し、駐車スペースに近い方に身障者用のトイレ、男子トイレ・女子トイレと、手洗い・足洗い場を含めた水廻り設備を配置します。そこから園地内の海岸線沿いにある木々の影を活かし、既存のベンチも残しながら丸い屋根を配置していきます。園地内の海岸線沿いは緩やかに傾斜していたり、近くには既存の建物もあるので、屋根をかけるポイント毎の周りの環境に合わせてながら軒高を2000mm～3000mmの範囲で変化させます。既存の遊歩道はそのまま残しながら、新たにかけた屋根の下には利用者が椅子を置いたり、敷物を広げたりできる様に塩害に強い芝（シーショアバスマラム）を敷き詰めることにより公園全体がピクニックスペースとして機能します。



